

対馬釜山事務所だよ



# キヨロンヘヨ (結婚します)



季節は万物が花を咲かせる春。人間が花を咲かせるのは結婚でしょうか？最近、私の周りでは結婚する人が多いです。男の友達、女の友達。。。

日本では多くの女性が「ジュン・ブライド」に憧れるのに対し、韓国の女性は「5月の花嫁」を夢見ます。

私からの「キヨロンヘヨ」（結婚します）という台詞を心待ちにして下さるであろう方々に向け、今回はその代わりに韓国の結婚式を紹介し、日本のそれとの違いを付け加えようと思います。

韓国では専門の結婚式場があり、そこでほとんどの方が結婚式をあげます。結婚式の順序をあえて区分すると洋式、韓国式、披露宴の3段階と言えます。

まず、洋式は花嫁が白いウェディングドレス、花婿はタキシードを着て、大勢の人の前で式をあげます。式場配置で日本と違うのは、前の中央には壇上があってその後ろには司式者が立つ、前方は花道です。花道を挟んで両側にお客さんが座りますが、その順番は、日本では仲人が座る一番前がご両親、その後ろを親戚、お祝いの客、友達で、日本とは逆でしょうか？

式順は花婿の登場、花嫁がお父さんの手に連れられて登場、二人が壇上の前で司式者から夫婦としての心構えなどの有意義な話を聞き（・・誓いです・・）、そして写真撮影となります。一般の客はここまで見てから、披露宴場に向かいます。

しかし、新郎新婦は急いで、韓国伝統のチマ・チョゴリに着替えて、韓国式の部屋に行きます。そこには両側のご両親と親戚が待っていて、新郎新婦はお辞儀をあげます（韓国でのあげ方です）。そして、子供を意味する栗と棗をもらいます。この時に着るチマ・チョゴリは普通のものではなくて、昔、宮中での礼服です。ここで面白いことは新郎が新婦を愛する表現として、ホッペタにチュッをしたり、「負んぶ」したりします。お祝い客はこの式の部屋には入れませんが、部屋のドアが開いているので、外から見ることが出来ます。

ここまで終わると新郎新婦は洋服に着替えて、披露宴の所に行きます。参列者は披露宴会場でお祝いの料理をご馳走になりますが、最近は料理の種類が豊富なバイキングで会が催されることが多いです。

皆様、韓国の結婚式、想像つきましたか？日本では結婚式と披露宴が多くの場合同じ場所で行われるので、新郎新婦だけが着替えて慌しいことに比べ、韓国は場所を移動するので結婚式に参加する全員が忙しいと言えますね。

個人的な意見として日本の式から取り入れたい点は、新婦のドレスの着替えとご両親への手紙や友達からのスピーチです。

よし！これからもっと多くの国の結婚式を見て、取り入れるべきいい点を見つけよう！！

‘オーイ！金さん、気合を入れるところが間違っているぞ！！’

E-mail: [tsushima55@hotmail.com](mailto:tsushima55@hotmail.com)

不明の点はお問い合わせ下さい。また情報をお待ちしています。

金 京一、辛 恩京